

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人フォーラムひこばえ
評価者氏名（職名）	浜岡 政好（佛教大学 名誉教授）
評価対象期間（年度）	平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

### 1 法人の事業活動，組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は，組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合，基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項 目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 ひこばえ事業	10%
事業名 児童館・学童保育事業	40%
事業名 放課後等デイサービス事業	40%
事業名 就労継続支援B型事業	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき，総会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任，議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき，理事会で審議・意思決定が行われているか。

項 目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し，議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また，総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

決議や議事録署名人の選任、議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
---	-------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### (3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

### (4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

### (5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

### (1) 活動の意義・成果等

定款の目的を具現化するために、基幹事業として、これまでの①ひこばえ事業（自主事業）、②児童館・学童保育事業、③放課後等デイサービス事業に加え、平成29年4月より④就労継続支援B型事業に取り組んでいる。これは放課後等デイの終了者のニーズに応えたものであるが、まだ事業としては軌道にのっていない。さらに利用者を増やすことや、利用者の仕事の仕方を工夫するなどの課題があると思われる。とはいえ、事業の拡大等によって、定款に謳われている「住民主体の安心で安全なまちづくりを促進し、地域福祉の向上に貢献する」ことに意欲的に取り組まれていることは評価することができる。

### (2) 社会への活動成果の発信

社会への活動成果の発信は、ホームページ、機関紙「フォーラムひこばえ」、月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」便りなどによって行われている。特に月刊の「うたの・ひこばえじどうかん」は、自治連の理解を得て、地域住民に広く届けられているが、ICT化の動きのなかでHPの強化が課題になっていた。この間、広報委員会を設置し、本部のHPを立ち上げるとともに、他の事業のHPともリンクするなど改善が進められた。

### (3) 他団体等との連携

「宇多野ケア会議」「右京区地域福祉推進委員会」への参加をはじめ、法人の事業や活動によって地域の諸団体との連携が広がってきている。それは地域福祉の基幹となる担い手である地域諸団体と連携を強化することが、法人の地域福祉の向上に貢献する上でも重要であるからである。また法人の事業や活動に対する地域の人びとの理解や共感を広げていくためには、さらに多くの連携を広めていくことが求められる。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

### (1) 財務管理の透明性

総会において、決算報告書、監事監査報告書等が審議され、議決されており、財務管理の透明性は確保されている。

### (2) 組織体制の状況

#### ①理事会・総会

理事会、総会等の機関運営については、定款にもとづいて適切に審議・意思決定が行われている。

#### ②監事監査

監事は第三者性、公正性を確保して、定款通りに職務を執行している。

#### ③事務局体制

法人の事業拡大にともなって、事務量が急激に増大してきており、理事会を支える事務局体制の確立が喫緊の課題となっている。会計、労務、広報などの業務を滞りなく行うために、今年度から2名体制への移行が課題となっている。また併せて法人スペースの確保も課題となっており、名実ともに法人事務局の強化が求められている。

#### ④職員体制

事業拡大に伴う職員の増加に対応した各種会議の定期的開催や報告書による情報の共有、職員間の連絡用システムの構築などマネジメントの改善が大きな課題となっている。また拡大した事業に見合った人材の確保・育成も喫緊の課題となっており、事業の継続のためには事業の魅力を発信し、新たな事業や活動の担い手を確保する活動とともにすでに働いている職員に対する研修をさらに強化する必要がある。

#### ⑤危機管理

災害等が多発しており、利用者・職員の安全性の確保、事業の継続性の上からも危機管理体制がこれまで以上に求められている。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
<p>平成 29 年 4 月より④就労継続支援 B 型事業に取り組んでいる。これは放課後等デイの終了者のニーズに応えたものであるが、まだ事業としては軌道にのっていない。さらに利用者を増やしたり、利用者の仕事の仕方を工夫するなどの課題があると思われる。</p>	<p>昨年度は開所間もない事業所であることもあり、職員連携が十分でなかったり、法人のミッションが事業所の方法論に活かされていなかったりした。今年度は少しずつであるが利用者が増え、事業が安定してきたので、ようやく職員数も増え、職員集団が形成され、支援について充実した議論、実践が可能になってきた。今年度の途中では重度の方の受け入れが可能な生活介護を併設させる予定であるが、事業所職員と事務局で中期的な目標設定を共有し、取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>法人の事業や活動に対する地域の人びとの理解や共感を広げていくためには、さらに多くの地域団体との連携を広めていくことが求められる</p>	<p>フォーラムひこばえ開所から 14 年を経過したが、地域の中ではようやく「ひこばえ」という存在が知られてきた段階といえる。宇多野学区の中には約 10 団体の地域団体があり、住民の代表としての地域団体との協力関係は、引き続き行事参加という形で進めていきたいが、一歩踏み出して、行事参画も考慮していきたいと考えている。また、ひこばえ事業や児童館の利用者に関しては、8 割以上宇多野学区民が占めているので、そことのさらに深い関係づくりや、ニーズの吸い上げの点で、事業所、法人事務局が連携して行っていきたい。さらに就労支援事業所の作業の中で、地域貢献できるような作業を展開していきたいと考えている。</p>
<p>法人の事業拡大にともなって、事務量が急激に増大してきており、理事会を支える事務局体制の確立が喫緊の課題となっている。会計、労務、広報などの業務を滞りなく行うために、今年度から 2 名体制への移行が課題となっている。また併せて法人スペースの確保も課題となっており、名実ともに法人事務局の強化が求められている。</p>	<p>法人事務局スペースに関しては、本館 2 階にスペースを確保し、保管庫を設置し、資料などを整理している段階である。</p> <p>事務局員の体制については、今年度より放課後デイ指導員と兼務の職員を法人事務局に配置し、1.5 名体制で業務を行っている。現時点では</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①0.5 名人員の増えた体制での業務分担の整理と遂行</li> <li>②業務の整理とマニュアル化</li> <li>③業務委託作業などの検討</li> </ol> <p>が課題となっている。</p>
<p>災害等が多発しており、利用者・職員の安全性の確保、事業の継続性の上からも危機管理体制がこれまで以上に求められている。</p>	<p>危機管理体制の確立については、月 1 回の防災、環境会議の設定により取り組んでいる。主には防災訓練の企画実施や防災倉庫備品の購入、リスク回避のための環境整備であり、4 事業所が協力して安全管理に努めていきたい。また当事業所は民家利用型の事業所であり、風情はあるが近年の耐震構造化の進んだ建物には程遠い。事業拡大に伴い、施設建物の整備が喫緊の課題になっており、そのための資金調達を始めるところである。</p>

	<p>さらに苦情処理については事故や苦情があれば管理職を中心に協議して複数意見を集めて対応している。また事故や苦情の経過記録と検証、ヒヤリハットの記録を行い、各事業所会議、施設長会議、さらには全職員会議で再発防止のための議論を行っている。</p> <p>職員1人ひとりの自覚を促すため、研修の開催や定期的な職員ヒアリング、会議での迅速かつオープンな検証を行っていきたいと考えている。</p>
--	---

#### **備考（審査委員会のコメント）**

放課後等デイサービス事業や就労継続B型事業など様々な事業を展開されているが、他の事業所等と専門性を補い合い、連携していくことも重要となる。また、事業規模に対応した事務局機能を備えるため、より機動的で効果的な経営体制を構築し、条例指定・認定による税制上の優遇措置のメリットを活かしながら、継続的な取組を行っていただきたい。